



平成22年4月27日

各位

上場会社名 豊和工業株式会社
 代表者 代表取締役社長 坂野 和秀
 (コード番号 6203)
 問合せ先責任者 取締役総務部門長 石原 啓充
 (TEL 052-408-1001)

業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年2月9日(通期連結業績予想)及び平成22年3月29日(通期個別業績予想)に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	18,500	△1,700	△1,810	△4,430	△35.34
今回発表予想(B)	20,200	△880	△860	△3,130	△24.97
増減額(B-A)	1,700	820	950	1,300	
増減率(%)	9.2	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	27,567	△560	△890	△1,091	△8.71

平成22年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	16,500	△1,610	△1,640	△4,320	△34.46
今回発表予想(B)	17,800	△910	△790	△3,480	△27.76
増減額(B-A)	1,300	700	850	840	
増減率(%)	7.9	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	24,181	△781	△873	△1,072	△8.56

修正の理由

1. 業績予想修正の理由

(個別理由)

第4四半期は、海外での小型汎用機の需要増などにより工作機械が増加し、金属製建具も防音サッシが高水準で推移したため、売上高は前回予想をやや上回る見込みです。損益については、売上の増加、受注増加による工場操業度の上昇などにより、営業赤字が縮小する見込みです。特別損失に計上する特別退職金・大量退職に伴う一時償却が前回予想を約7億円下回りますが、固定資産の減損損失を約7億3千万円計上するため、上記の損益となる見込みです。

(連結理由)

上記個別と同様の理由により、営業赤字が縮小する見込みです。特別損失に計上する特別退職金・大量退職に伴う一時償却が前回予想を約7億円下回りますが、固定資産の減損損失を約3億7千万円計上するため、上記の損益となる見込みです。

2. 特別損失の計上

現在の事業環境及び今後の見通しを勘案した結果、また、土地の時価の下落などにより、当社が保有する一部の固定資産について減損処理を行い、特別損失として減損損失を計上いたします。

(個別)

(1) 本社工場(機械装置) 約3億7千万円

(2) 熊本県宇土市賃貸資産(土地) 約3億6千万円

(連結)

(1) 本社工場(機械装置) 約3億7千万円

以上